

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	インターンシップ B		
担当者(Instructors)	鈴木 直政	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
小学校に出向いて、実際の授業の様子を6時間分参観する。子どもと教師とのやりとりや教師の指導方法の工夫など、教育現場の姿に直接触れることを通して、子どもの実態と教師の役割について理解を深め、教師としての素養を高めていく。ここで学んだことは、4年次に行われる教育実習に活かすことになる。また、文科省が重視している「学校インターンシップ活動」の一環としても位置付くものでもある。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	サービスラーニング実習校として連携してきた名東区の小学校で3日間、低学年・中学年・高学年（予定）の授業参観を行う。あらかじめ授業の様子を観察する視点を設定した上で、教師の活動及び児童の反応について観察する。その後、参加した学生間で報告・集団討議を行い、板書や発問、指示の仕方等の授業の基本的な進め方について学ぶ。また、一斉指導をするときの留意点やグループ学習の進め方、習熟度差への対処方法等についても理解を深めていく。さらに、令和3年度から導入されたタブレットの活用の仕方についても学んでいくようにする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業参観についてのガイダンス	単元のねらいや単元構成など、1時間の授業をするために必要な事項について理解し、授業参観の目的について把握する。	□
第2回	授業を参観する時の視点設定	授業を参観するときの視点を分類・整理し、授業内容に沿って自分が参観する視点を設定する。(発問、板書、学習形態、ITCの活用等) <レポート提出①>	□
第3回	低学年の授業参観(2限)	低学年の授業(2時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第4回	低学年の授業参観(3限)	低学年の授業(3時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第5回	低学年の授業参観の振り返り	参観した授業を振り返り、教師の指導方法について大切なことや工夫されていたことを発表し、基本的な指導方法の在り方について話し合う。<レポート提出②>	□
第6回	中学年の授業参観(2限)	中学年の授業(2時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第7回	中学年の授業参観(3限)	中学年の授業(3時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第8回	中学年の授業参観の振り返り	参観した授業を振り返り、教師の指導方法について大切なことや工夫されていたことを発表し、基本的な指導方法の在り方について話し合う。<レポート提出③>	□
第9回	高学年の授業参観(2限)	高学年の授業(2時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第10回	高学年の授業参観(3限)	高学年の授業(3時限目)を事前に設定した自分の視点から参観し、授業の様子を録する。	□
第11回	高学年の授業参観の振り返り	参観した授業を振り返り、教師の指導方法について大切なことや工夫されていたことを発表し、基本的な指導方法の在り方について話し合う。<レポート提出④>	□
第12回	児童の発達段階と教師の指導法	児童の発達段階に合わせて、事前に設定した各々の視点における教師の指導法について重要な点を話し合う。	□
第13回	教科の内容と教師の指導法	それぞれの教科の特性をつかみ、教科ごとの教材研究の在り方や必要とされる教師の指導法について話し合う。	□

